

平成23年度後期高齢者医療特別会計決算の概要

市民課保険料班
0479-73-0086

平成23年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入・歳出ともに対前年比1.4%増となりました。その結果、実質収支は63万4千円の黒字となりました。

1 平成23年度後期高齢者医療特別会計決算収支の状況

平成23年度の後期高齢者医療特別会計の決算は、歳入では対前年比1.4%増の3億946万1千円、歳出では、同じく対前年比1.4%増の3億882万7千円となりました。

その結果、平成23年度の実質収支は、63万4千円の黒字となりました。

(単位:千円)

区 分	23年度 ①	22年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
歳入総額 A	309,461	305,268	4,193	1.4%
歳出総額 B	308,827	304,679	4,148	1.4%
歳入歳出差引 C=A-B	634	589	45	7.6%
翌年度に繰り越すべき財源 D	0	0	0	
実質収支 E=C-D	634	589	45	7.6%

実質収支の推移

(単位:千円)

年度	H20	H21	H22	H23
実質収支	2,338	849	589	634

※ 後期高齢者医療特別会計は、老人保健特別会計に代わり平成20年度から始まりました。

2 歳入決算

(単位:千円)

区 分	23年度 ①	22年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
後期高齢者医療保険料	194,190	196,174	△ 1,984	△ 1.0%
繰入金	103,091	101,413	1,678	1.7%
繰越金	589	849	△ 260	△ 30.6%
諸収入	11,591	6,832	4,759	69.7%
計	309,461	305,268	4,193	1.4%

《主な増減要因》

(1)後期高齢者医療保険料

所得の減少により保険料が減少。

(2)諸収入

千葉県後期高齢者医療広域連合からの健康診査受託料が増加。

3 歳出決算

(単位:千円)

区 分	23年度 ①	22年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
総務費	22,186	21,887	299	1.4%
後期高齢者医療広域連合納付金	275,990	276,912	△ 922	△ 0.3%
保健事業費	10,533	5,518	5,015	90.9%
諸支出金	118	362	△ 244	△ 67.4%
計	308,827	304,679	4,148	1.4%

《主な増減要因》

(1)保健事業費

健康診査実施方法の変更により健康診査事業費が増加。

(2)諸支出金

保険料過年度還付金が減少。